

2018 All Japan Road Racing Championship Round 2
SUZUKA 2&4 Race - SUPERBIKE EXPRESS 2018 VOL.2

2018
SUPERBIKE
EXPRESS
02

JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACING CHAMPIONSHIP

QUALIFY to RACE1
OFFICIAL REPORT



中須賀克行がスパートをかけレース1を制す! レース2に巻き返しを狙う高橋巧

シリーズ第2戦を迎えた全日本ロードレース選手権。今年も鈴鹿2&4レースは、最高峰クラスのJSB1000クラスと4輪国内最高峰のスーパーフォーミュラ、全日本フォーミュラ3の併催で行われた。

今シーズンは、セミ耐久がなくなり、開幕戦に続き、今回も土曜日に公式予選とレース1、日曜日にレース2が行われるスケジュール。2週間前にツインリンクもてぎで行われた開幕戦では、タイトル奪還に燃える中須賀克行がダブルウインを飾り、幸先よいスタートを切った。

今回も金曜日からトップタイムをマーク。土曜日午前中に行われた公式予選では、開始早々に前人未踏の2分04秒台に突入。セカンドタイムでもトップとなり、2戦連続でダブルポールポジションを獲得していただけに、レースをリードして行くかと思われた。

好スタートを見せホールショットを奪ったのは、セカンドグリッドの高橋巧。これに2列目4番手グリッドスタートの渡辺一馬が、2コーナーでアウトから並んでいき、S字コーナー進入でトップに浮上する。3番手以下は、中須賀、高橋裕紀、津田拓也、野左根航汰、

秋吉耕佑、渡辺一樹、加賀山就臣と続いて行く。オープニングラップのダンロップコーナーでは、秋吉が単独でコースアウト。バックストレートから130Rへのブレーキングに入る辺りでは、津田が他車と接触し、130Rでコースアウト。共に大きく順位を落とし津田は、17番手、秋吉は34番手で2周目に突入して行く。

トップグループは、渡辺一馬が2分07秒台で引張り、中須賀、高橋巧、野左根、渡辺一樹が続き5台が形成。一時は、渡辺一樹がやや遅れを取るが、レース中盤には、再び追い付いてくる。

トップに立つタイミングを伺っていた中須賀は、14周目のデグナーカーブ2個目の立ち上がりで渡辺一馬がややミスをし、加速がやや鈍ったのを見逃さず前に出ると、そのままスパート。これに呼応し、すぐに渡辺一馬をかわして中須賀を追いいたい高橋巧だったが、スプーンカーブ進入でようやく前に出るが、すでに中須賀に引き離されてしまっている状況だった。逃げる中須賀に追う高橋巧だったが、中須賀は、15周目にファステストラップとなる2分06秒377をマーク。高橋巧を突き放し、トップでチェッカーフラッグを受けた。

高橋巧は、1秒961差の2位。3位争いは、渡辺一馬、野左根、渡辺一樹の三つ巴のバトルとなる。最終ラップには、渡辺一樹、野左根、渡辺一馬の順で突入。バックストレートから130Rへのブレーキングで渡辺一樹がコースアウト。野左根が3位争いを制し、渡辺一馬、渡辺一樹の順でチェッカーフラッグを受けた。その後方では、序盤のコースアウトから激しい追い上げを見せた秋吉が最終ラップのシケインで津田をかわし6位でゴール。津田も後方から追い上げ7位となった。

以下、高橋裕紀、前田恵助、加賀山、水野涼、清成龍一、生形秀之、近藤湧也、山口辰也、ザクワン・ザイディ、松崎克哉、日浦大治朗、瀧美心、中富伸一とポイント圏内でゴールした。

レース2も中須賀がレースをコントロールしそうだ。高橋巧も調子を上げてきているだけに、どこまでついて行けるかがカギとなるだろう。レース1でコースアウトした津田、秋吉も、どのポジションに入ってくるかによって、レース1とは違う展開がありそうだ。



RIDERS INTERVIEW

レース1:優勝/レース2:ポールポジション #21 中須賀 克行 YAMAHA FACTORY RACING TEAM

「トップ争いは、表彰台に上がった3人の争いになるのかと予想していましたが、スタートが決まれば、レースを引っ張ろうかと思っていました。スタートに出た渡辺一馬選手のアベレージが悪くなかったため、周回遅れが出てきてから前に出ようと思っていました。渡辺一馬選手が、少しミスをしたので、敢えて抜きにくいところで抜いて、それがうまく行き、一気にリードを広げることができました。決勝では、予想以上に路面温度が上がったこともあり、予選のときのようなフィーリングではなかったため、少しプッシュするとフロントが切れ込むような感じだったので決して余裕はありませんでした。集中して周回できたので、最後に力を振り絞ることができました。レース2は、午前中に行われるので、路面温度も変わってくると思います。アベレージは、持っているので連勝記録を伸ばすべく集中して取り組んで行こうと思っています」

レース1:2位 #1 高橋 巧 Team HRC

「スタートは、うまく決まって1コーナー(は)トップで入ることができたので、まずはレースを引っ張って序盤に台数を絞りました。渡辺一馬選手が、すごい勢いで抜いて行きました。トップグループにいて中須賀選手がレース終盤に前に出て行くと思っていましたし、フォーミュラのラバーの影響か、路面温度が上がったことから、思ったようにペースを上げられなかったため、様子見ながら中須賀選手が動くときに備えて温存していました。いざ中須賀選手が動いたときには何もできなかったため、レース2では、勝負できるようにしたいですね」

レース1:3位 #5 野左根航汰 YAMAHA FACTORY RACING TEAM #5

「スタートは、まずまず決まったのですが、渡辺一馬選手のペースが思ったより速く、他のライダーに比べて厳しい状況でした。最後は、3人での3位争いになりましたが、何とか、2人の渡辺選手に勝つことができて表彰台に上がることができました。トップ2に引き離されてしまいましたし、レース2に向けて反省点の多いレース1になったと思います。レース2は、もっといい走りができるようにしたいですね」

Race1 決勝正式結果表

●4月21日(土) (18周) 天候:晴コース:ドライ

Pos. No.	Rider	Team
1	21 中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM
2	1 高橋 巧	Team HRC
3	5 野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM #5
4	11 渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN
5	26 渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL
6	090 秋吉 耕佑	au・テルルMotoUP RT
7	12 津田 拓也	ヨシムラスズキMOTUL
8	72 高橋 裕紀	MORIWAKI MOTUL RACING
9	75 前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM
10	71 加賀山 就臣	Team KAGAYAMA
11	634 水野 涼	MuSASHI RT HARC-PRO.Honda
12	23 清成 龍一	MORIWAKI MOTUL RACING
13	25 生形 秀之	エスパルスドリームレーシング・IAI
14	35 近藤 湧也	JOYNET GBSレーシングYAMAHA
15	8 山口 辰也	Team SuP Dream Honda
16	51 Zaqhwan Zaidi	Honda Asia-Dream
17	15 松崎 克哉	Kawasaki Team GREEN
18	20 日浦 大治朗	Honda Suzuka Racing Team
19	17 瀧美 心	TONE RT SYNCEDGE4413
20	14 中富 伸一	HITMAN RCKOSHIEEN YAMAHA
21	16 酒井 大作	Motorrad39
22	806 長尾 健吾	NCXX RACING & ZENKOUKAI
23	40 小島 一浩	Honda緑陽会熊本EWC2
24	34 岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH
25	52 寺本 幸司	TERAMOTO@J-TRIP Racing
26	42 中村 敬司	Speed Heart TTS Racing Team
27	22 児玉 勇太	Team Kodama
28	74 稲垣 誠	AKENO SPEED・YAMAHA
29	55 新庄 雅浩	KRP三陽工業&RS-ITOH
30	64 奥田 貴哉	TitaniumPowerRacingWithHOOTERS
31	31 津田 一磨	Team Baby Face
32	67 豊田 浩史	NIPPON SUMATORA BIO MASSE+D;R&X
33	92 國川 浩道	Speed Heart TTS Racing Team
34	50 小谷 咲斗	T・モトキッズ・NAC・ALTEC・NRS
35	37 須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン
36	44 樋口 耕太	H. L. O RACING
37	82 中本 郡	BANNER RACING
38	115 筒井 伸	moto CUBIC+Motorrad Toyota
以下フィニッシュライン不通過:		
39	70 清末 尚樹	チーム阪神ライディングスクール
40	502 松本 隆征	NCXX RACING & ZENKOUKAI
以上規定周回数未走:		
98	佐野 勝人	TEAM VITAL SPIRIT
24	柳川 明	チーム阪神ライディングスクール
46	星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413
60	徳留 和樹	TitaniumPowerRacingWithHOOTERS

QUALIFY to RACE 1

REPORT, INTERVIEW & RESULTS

Race2セカンドラップタイム正式結果表

●4月22日(日) スタート/10:55(18周)

Pos. No.	Rider	Machine	2ndTime
1	21 中須賀 克行	YZF-R1	2'05.102
2	1 高橋 巧	CBR1000RRW	2'05.696
3	5 野左根 航汰	YZF-R1	2'06.398
4	11 渡辺 一馬	ZX-10RR	2'06.547
5	12 津田 拓也	GSX-R1000L8	2'06.662
6	26 渡辺 一樹	GSX-R1000L8	2'06.873
7	090 秋吉 耕佑	CBR1000RR SP2	2'07.100
8	72 高橋 裕紀	CBR1000RR SP2	2'07.631
9	75 前田 恵助	YZF-R1	2'08.011
10	23 清成 龍一	CBR1000RR SP2	2'08.090
11	71 加賀山 就臣	GSX-R1000	2'08.324
12	51 Zaqhwan Zaidi	CBR1000RR SP2	2'08.410
13	634 水野 涼	CBR1000RR SP2	2'08.880
14	20 日浦 大治朗	CBR1000RR SP2	2'08.955
15	25 生形 秀之	GSX-R1000	2'09.424
16	15 松崎 克哉	ZX-10RR	2'09.547
17	8 山口 辰也	CBR1000RR SP2	2'09.562
18	17 瀧美 心	S1000RR	2'09.877
19	16 酒井 大作	S1000RR	2'09.959
20	14 中富 伸一	YZF-R1	2'10.109
21	35 近藤 湧也	YZF-R1	2'10.291
22	806 長尾 健吾	YZF-R1	2'10.610
23	46 星野 知也	S1000RR	2'10.810
24	74 稲垣 誠	YZF-R1	2'11.145
25	24 柳川 明	ZX-10RR	2'11.289
26	98 佐野 勝人	S1000RR	2'11.324
27	40 小島 一浩	CBR1000RR	2'11.723
28	92 國川 浩道	CBR1000RR	2'11.743
29	42 中村 敬司	CBR1000RR	2'11.803
30	34 岡村 光矩	ZX-10RR	2'11.904
31	70 清末 尚樹	ZX-10RR	2'12.065
32	52 寺本 幸司	S1000RR	2'12.075
33	31 津田 一磨	YZF-R1	2'12.192
34	55 新庄 雅浩	ZX-10R	2'12.463
35	502 松本 隆征	YZF-R1	2'12.472
36	22 児玉 勇太	YZF-R1	2'12.515
37	64 奥田 貴哉	YZF-R1	2'12.768
38	82 中本 郡	YZF-R1	2'12.990
39	67 豊田 浩史	YZF-R1	2'13.141
40	60 徳留 和樹	YZF-R1	2'13.322
41	50 小谷 咲斗	YZF-R1	2'13.496
42	44 樋口 耕太	GSX-R1000	2'13.755
43	37 須貝 義行	RSV4 RF	2'13.759
44	99 吉田 和憲	YZF-R1	2'13.931
以上予選通過車両:			
45	45 相馬 利胤	YZF-R1	2'13.971
46	115 筒井 伸	S1000RR	2'14.000
47	48 池田 貴彦	YZF-R1	2'14.246
48	105 大野 英樹	S1000RR	2'14.432
49	90 吉田 光弘	CBR1000RR	2'14.628
50	54 宮腰 武	YZF-R1	2'14.712
51	91 井上 拓海	CBR1000RR	2'14.749
52	73 向山 将弘	GSX-R1000	2'14.784
53	84 宮島 伸也	S1000RR	2'14.807
54	69 桐井 有希	ZX-10R	2'14.910
55	62 加藤 久幸	ZX-10R	2'15.029
56	97 辻本 範行	S1000RR	2'15.171
57	113 下田 和也	CBR1000RR	2'15.439
58	85 安藤 元之	CBR1000RR	2'15.585
59	56 上野 友寛	YZF-R1	2'16.431
60	58 佐藤 龍彦	YZF-R1	2'16.736
61	78 森 健祐	CBR1000RR	2'16.760



INFORMATION

RIDE & DRIVE 全日本ロードレース& 全日本モトクロスを無料放送

MFJが管轄するロードレース、モトクロスの各全日本選手権シリーズ全戦が、無料BS放送のBS12(番組名「RIDE&DRIVE」)で、モーターサイクルスポーツバラエティとして放送! 放映日時は毎月最終金曜の21:30~22:00になりました。

★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで!

《放映スケジュール》

12月の総集編まで毎月最終金曜の21:30~22:00に放送!!



インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



全日本ロードレース選手権は全戦・全クラスの予選・決勝をライブ配信! 今年からカメラ位置・アングルを充実、より迫力ある映像をお届けします。※通信環境により配信内容となる場合があります



YouTube「MFJ SUPERBIKE オフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

